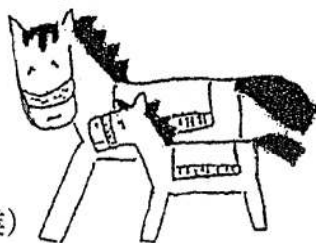


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



21年 6月 NO. 175

(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

～どなたでも～		6月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
6月 6日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って あそびましょう。
6月 12日	金	おはなしの会 10:30～11:30	毎月、色々な工夫のある 楽しい会です。
6月 20日	土	実用筆書き講座 14:00～16:00	日常、役に立つ筆書きを練習 しませんか。(託児予約要)
6月 24日	水	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	親子でできる保育体操や季節の 歌や踊りをしましょう。
6月 26日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり 相談できます。(予約要)
6月 27日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も育児体験に おいで下さい。
6月 27日	土	木工教室 14:00～16:00	材料、工具もありますので 手作りしてみましょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・毎火曜日 園庭開放(13時～16時) ・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。(但し、月・日曜・祭日は休み) 	<p>育児相談(月～土) 9:00～18:00 しつけや子育てについての悩み、 保育園生活、入園・見学について の相談もどうぞ。</p>
---	--

金子みすゞ童謡全集6より

黒い巨きな靴が来て、
りこうな桜んぼを踏みつけた。
おお
そこで、落ちたは夜夜中、
よるよなか

やがて子供が二人来た。
そこでまたまた考える。
待てよ、子供は二人いる、
それに私はただ一つ、
けんかさせてはなるまいぞ、
落ちないことが親切だ。

鳥
やがて熟れたが、桜んぼ、
またも葉かげで考える。
待てよ、私を育てたは、
あの年とったお百姓だ、
鳥にとられちゃなるまいぞ、
そこで、お百姓、籠もって、
取りに来たのに、桜んぼ、
かくれて来たので採り残す。

とてもりこうな桜んぼ、
ある日、葉かげで考える。
待てよ、私はまだ青い、
行儀のわるい鳥の子が、
つつきや、ぼんぼが痛くなる、
かくれてるのが親切だ。
そこで、かくれた、葉の裏だ、
鳥も見ないが、お日さまも、
みつけないから、染め残す。

りこうな桜んぼ



最近思うことは、保育園へ入所時、園児さんの名前が年々むつかしい字で読みにくくなっていると感じます。こんなおとなになってほしいなど、ご家族の夢や希望がこめられ、書かれた名前の字体からもイメージとして伝わってきます。

今月は、子どもの名付けについてのご意見を紹介しましょう。



～子どもの名付けについて色々なご意見～



私は去年結婚し、近い将来、子どもを持つことを望んでいますが、子どもの名前について考えさせられることがあります。それは最近、新聞を読んだりしていると、フリガナがないと読めない名前が増えていると感じます。それも当て字のような名前、中には辞書に載っていない読みをする名前まで、実に多い気がするのです。

親にしてみれば、自分の子どもの名前なのだから好きにさせて、ということかもしれませんが、私は少し違和感を覚えます。まさか単にそう呼びたいから、響きがおしゃれだからというようなことだけで名付けられるのではないでしょうが……。

同年代の友人は、子どもの名前には父親の名前と同じ漢字を1字あて、もう1字には子どもの未来に対する思いが込められています。昔ながらというかんじですが、そういう名付け方を聞くと、なんだかホッとします。子どもは親を選べないし、名前も選べず一生モノです。親は、子どもの名前についてもっと深く考える必要があるように思います。

(兵庫県加古川市 Uさん 27歳)

大事なものは苦労なく自分で書けること。大人でも困るくらい画数の多い字は、子どもにとってどれだけ大変か、これから親になる人は心に留めて頂きたいです。

(京都市 書道の先生)

命名には、読みも規制すべきです。いくら親が愛情を持って名付けても、将来、社会生活を営むようになれば学校や行政など、様々な関係者に迷惑をかけることになります。

(兵庫県加西市 女性)

親になろうとしている今思うことは、名前は子どもに贈る最初のプレゼントだということ。贈り物をする時、相手のことを一生懸命に考えた名前をつけてあげたい。たとえそれが世間の目から見ても奇抜なものだったとしても、夫婦の温かい思いを伝えてあげれば、きっと子どもは「ありがとう」と感じて強く生きていってくれるはず。そう信じています。

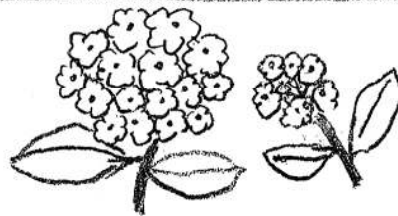
(奈良県天理市 Sさん)

わたしの名前は「智福」。どのように読んでくださいますか。今時ならともかく、昭和5年(1930)生まれです。学校に通っている間は先生方に必ず「何と読むのか」と尋ねられたものです。それが結婚すると、もっと大変なことに。なんと夫の名が「増美」だったのです。そのために役所の書類で夫と妻の私をあべこべにされたことも。10年前に夫を亡くした時は新聞の死亡欄で私が死亡したことにされてしまいました。なぜって？うちは旅館なものですから、記者さんが勘違いして、夫の名を書いて「女将死去」と報じたのです。

そんな子ども時代や結婚生活を送ってきましたが、今は日本に、いや世界に1人の名前だと優越感に浸っています。

(奈良県 ^{きたむら}北邨 ^{ちふく}智福さん)

後記



5月に男の初孫が生まれ、名付けの体験をしました。

私の寺では代々、長男には名前に乗(のり)の1字を入れることになっています。乗(のり)のあとに1字加えれば名前になるのですが、将来の僧侶としての名前(法名として)は、乗(じょう)になりますので2通りの読み方で、わかりやすく、呼びやすい名前ということになります。

この度は男の子とわかっていましたので、将来親になる夫婦と私たち祖父、祖母がみんなでお名前をいくつか出し合う余裕もありました。

思い返してみると、私の出産の時は、私の願いや希望を問われることもなく、知らされないまま嫁ぎ先の家族が相談して、名前が決められ、名付けられていました。

昭和40年代の嫁の立場というものは、そんなものだったかもしれませんね。

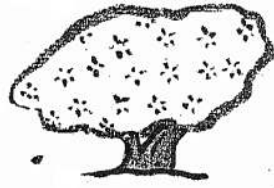
(堀 侃子)

おやこであそぼう!

① はるかぜ ふー
さくらの はなびら
ひーらひら

② あきかぜ ふー
もみじの はっぱが
ちーらちら

春風さん
くすぐったいよ



ひとこと

赤ちゃんから1歳2歳の子が喜ぶ遊びです。くすぐり遊びは幼い子の好きな遊びですけれど、くすぐるのはほんのいっとき、軽くくすぐるだけにしたほうが喜ぶます。あんまりしつこくくすぐられるのは子どもも嫌いです。「ふー」も桜の花びらがひらひらと散る程度の風のように、やさしく吹いてあげてください。

藤田浩子・編著
おはなしおばさんの
「ふれあいあそび」ギョッより